

上西小学校
木造校舎落成
への道（前編）

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行



上西小学校落成祝賀演芸会

左のセピア色の写真は昭和22年、木造校舎落成祝賀演芸会の一場面です。

太平洋戦争直後の物資不足の時期に、これほど華々しい演芸会を開くことができたのは、校舎建築まで苦勞を思いながら、校区民全員で落成の喜びを表したかったのでしょうか。

どんな苦難があったのか、ひも解いてみます。



卒業写真
大正六年

上西小学校の歴史（前編）

明治9年 上西小学校創設

大正3年 榕城小学校に合併、上西分教場へ。
1～4年生は二学級複式学級。5・6年生は尋常高等小学校の児童として榕城小学校に通う。

昭和12年 初めて上西校区より秋山甚市氏が町議会議員となる。



秋山甚市氏

昭和13年 上西は区制を敷き、初代区長に洲崎亀三氏を推薦

昭和15年 上西尋常小学校として独立



洲崎亀三氏

昭和17年 高等科設置。約90名の児童が母校に復帰。

狭い校地を解消するために長山富夫氏所有の旧宅地・畑・水田等の買売交渉。同年、譲渡契約成立。買収し、校地拡張へ。

〃 5月 裁縫室と用務員室を新改築し、高等科二教室に宛てる。
（現在の体育館の場所）

この当時、北種子村村議会議員に上西校区出身者はおらず、区民は教育や政治に対する関心を失い、上西教育の空白期間を招いた。

上西初の町議会議員秋山甚市氏、初代区長に洲崎亀三氏が上西に新風をもたらせた。

以来、校区と区民が協力し、上西小学校独立運動が湧き上がった。県に陳情し、町議会へ申し入れをした結果、**独立が実現する。**

続いて、高等科が母校上西小に戻る。

いかに狭くて不備な教室でも、母校の校門をくぐって登校する姿を見た親は喜び、学校への関心が高まり、校地拡張と校舎整備への期待につながっていく。

上西小学校百周年記念誌「まなびや」の記事を参考に編集しています。木造校舎完成まで、後編(11/25配布)に続きます。